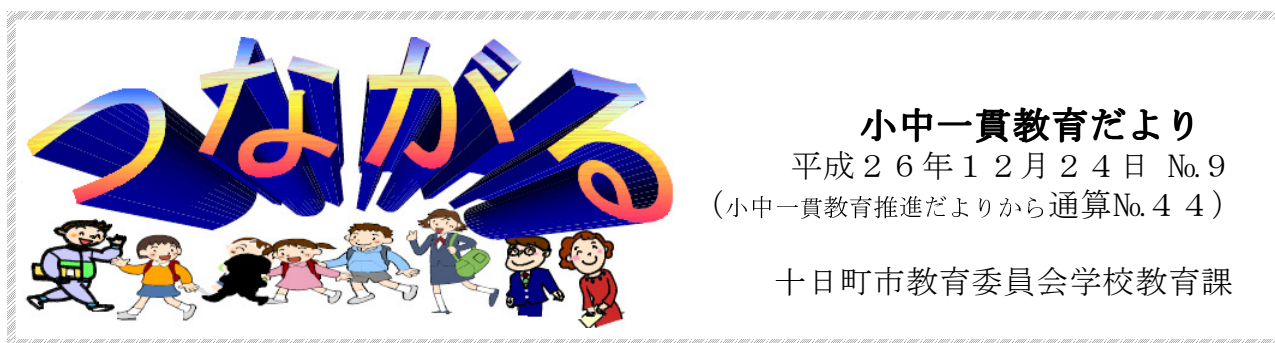


小中一貫教育に関わる研修の継続と改善

学校教育課小中一貫教育係

嘱託指導主事 丸山公一

小中一貫教育本格実施開始から約9か月、各中学校区においては小中全教職員一丸となり創意工夫と熱意をもって小中一貫教育の推進に取り組み、多くの成果が出ていると実感しています。

「平成26年度十日町市小中一貫教育実施計画」に基づき、各中学校区の統括コーディネーター、及び各校のコーディネーターのリーダーシップの下、各中学校区の事業や活動が計画的に取り組まれてきました。今は、その事業や活動の振り返りの時期であり、評価・考察を加えて次年度への構想を練るところではないかと考えます。

学校教育課小中一貫教育係としても、学校訪問、活動参観、研修会の実施、統括コーディネーター連絡会などを通し、大きな成果とともに改善を必要とする課題も見えてきましたので、次年度の研修を見据え、その実施計画を立てているところでもあります。いくつかその方向性を挙げてみます。

1 小中学校教職員のより確かな相互理解

小中一貫教育を進めるには、小中学校教職員の一丸となった取組が不可欠です。もちろん小中の文化の違い、発達段階に応じた求めるものの違いは当然あるわけですが、9年間を通してどのような子どもに育てるか長いスパンをもった共通の視野が必要です。

小・中学校の教職員の相互理解が大切であると誰もが認識していながらも、具体策はあまりありませんでした。したがって、今後は小学校教職員が中学校を、中学校教職員が小学校を、身をもって体験することも必要と考えます。

2 小中一貫教育にかける意識の継続性

教職員の異動に伴い、築き上げてきた小中一貫教育への積み上げの意識が途切れないようにすることが大切です。また、十日町市への新任・転任教職員の方からも、早々にかつ確実に十日町市の小中一貫教育を理解して取り組んでいただくことが肝要と考えます。時期を逸しない研修、継続的な研修が必要と考えます。

3 小中一貫教育への教職員一人一人の主体的参画意識の高揚

各中学校区で組織された体制の中で、部会や一人一人の役割分担がなされ、小中一貫教育に取り組んでいくものと思われます。ただし、小中一貫教育は与えられた役割をこなすだけではなく、大きなねらいを教職員一人一人が理解し取り組んでいかなければなりません。そのため主体的な参画意識を高めるべく、一人一人の英知を自由に出し合える機会が必要と考えます。

4 小中一貫教育推進体制の明確化

本年度から各中学校区に統括コーディネーターが配置され、各校のコーディネーターと連携をとりながら小中一貫教育を推進しているところです。ただし、連携の効果的な在り方、連絡体制づくりについてはまだ検討の余地があります。中学校区の実態に即した体制づくりが必要と考えます。

これらのことを踏まえ、平成27年度の研修に関わる計画を策定していきたいと考えます。

教育センターから



学力向上推進会議から

～授業改善に「Web配信集計システム」を活用しよう～

12月12日（金）情報館で、中学校の研究主任を対象に学力向上推進会議を開催しました。当日は、県立教育センターから泉田雅彦指導主事においでいただき、学力向上のためのWeb配信集計システムの活用について講義してもらいました。

講義の主な内容は以下のとおりです。

- ① 単元に入る前にWeb配信集計システムの過去データで正答率をチェックすることで効率的に授業改善！
正答率が高い問題 → 指導の軽減を図る
正答率が低い問題 → 解説をチェック → 指導の重点化を図る
- ② 年間推移グラフで、教師自身の指導を評価！
右肩上がり → 指導の効果が上がっています
右肩下がり → 指導の効果が上がりません
でこぼこ → 指導にムラがあります
- ③ 定着のよくない問題をできるようにする地道な取組を大切に！
できない問題をそのまま → いつまでたっても教師も子どもも変化なし
できない問題をサポート → 教師も子どもも確実に力量アップ

参加者の声

○Web配信集計システムが「授業改善」のためになることを再確認した。

○Web配信集計システムの蓄積データから指導のポイントが明らかになるという視点は新鮮だった。

○事前のWeb配信集計システムの活用は、指導の省力化になることが分かった。

○Web配信集計システムの活用に向けて校内体制で取り組んでいきたい。



トピックス

取組紹介 拡大中学校区「元気生活1・2・3」

拡大中学校区（十日町中学校区・中条中学校区）では、よりよい生活習慣が定着し、心身ともに健康な児童生徒を育成するために『元気生活1・2・3（ワン・ツー・スリー）』という取組を行っています。これは、

元気生活1 = 登校の1時間前に起きよう。
 元気生活2 = メディア2時間以内にしよう。
 元気生活3 = 朝食を3品（主食・主菜・副菜）食べよう。

の3つを合言葉に取り組んでいる活動です。

2学期の取組結果がまとめられていますので紹介します。（グラフ・詳細な数値は割愛します）

登校1時間前起床

全体で75%の児童生徒が1時間前に起床することができています。

中学生は、学年によって差がありますが、部活動の練習がある1年生は、良い結果となりました。

早起きをする

朝ご飯をしっかり食べる、歯を磨く、トイレに行くなど、余裕をもって朝の準備を確実に行うことができます。また、すっきりと目覚めた頭で学習に臨むことができます。

メディア2時間以内

メディア時間は非常に個人差があり、テレビのほかにゲーム、ネット、スマホ等に長時間を費やす児童生徒が見られました。

また、小学生(80%)に比べて、中学生(60%)の達成率は低く、学年差もありました。その中でも中学3年生は、受験を控えているためか、頑張っている様子が見られました。

メディア時間を守ることができる

学習や睡眠などの必要な時間をきちんと確保できるようになります。「ゲームは土・日だけ」など、家庭のルールを決めて取り組んでいる例もありました。



朝食を3品(主食・主菜・副菜)

全体で、82%の児童生徒が、朝食を3品食べることができています。大変良い傾向です。

朝食をしっかり食べると

脳と体が、休息モードから活動モードに切り替わり、集中力が高まります。

◆各中学校区取組紹介（12月～1月）

中学校区名	12月の取組	1月の取組予定
拡大中学校区 統括；中条中 久保俊幸教諭	■ 12月中 拡大中学校区だより発行 2学期の「元気生活1・2・3」、「家庭学習強調ウィーク」取組結果について	□ 1月13日（火）～19日（月） 「元気生活1・2・3」 「家庭学習強調ウィーク」
南 中学校区 統括；南中 影山裕一教諭	■ 12月 5日（金）小中一貫だより（No.5）発行 ■ 12月10日（水）学区教職員研修会（中1英語） ■ 12月中 小中一貫教育各班会議	□ 1月中 小中一貫だより（No.6） □ 1月15日（木）コーディネーター班長会議 15:30～16:40 南中 □ 1月21日（水）中学校区教育推進会議 15:30～16:40 南中

吉田中学校区 統括；吉田中 川合徹人教頭	■ 1 2 月 2 日（火）挨拶運動（鑑島小学校） ■ 1 2 月 3 日（水）挨拶運動（吉田小学校） ■ 1 2 月 5 日（金）いじめ見逃しゼロスクール 小学生と中学生がK J 法を使って真剣に考えたり話し合ったりすることができた。 ■ 1 2 月 9 日（火） 3 校教務主任打合せ	□ 1 月 1 6 日（金）中学校入学説明会（吉田小） □ 1 月 2 2 日（木）中学校入学説明会（鑑島小）
下条中学校区 統括；下条中 庭山敦教頭	■ 1 2 月 2 4 日（水）小中合同職員会議 13:30～下条中	□ 特に予定はなし
水沢中学校区 統括；水沢小 羽鳥賢太郎教諭	■ 1 2 月 4 日（木）小中一貫教育三部会 知・徳・体の3部会に分かれ、今年度の取組の成果と課題、及び次年度の取組の内容の検討と確認を行った。	□ 1 月 2 2 日（木）性教育合同授業 14:05～14:50 水沢小
川西中学校区 統括；川西中 高野昭一教諭	■ 1 2 月中 小中一貫教育についてのアンケート実施 ■ 1 2 月中 小中一貫教育だより発行（千手小）	□ 1 月 1 3 日（火）～ 第3回小中共通パワーアップ週間
中里中学校区 統括；田沢小 関谷昭夫教頭	■ 1 2 月 4 日（木）地区校長会（グランドデザイン協議） 保・小・中情報交換会 ■ 1 2 月上旬～中旬 小中一貫教育評価 ■ 1 2 月下旬 チャレンジウィークまとめ （生活習慣定着班） ■ 1 2 月下旬 各校評価、統括コーディネーター	□ 1 月 1 3 日（火）地区校長会 □ 1 月中旬 教育課程班会議 □ 1 月中旬～下旬 各部会班会議
松代中学校区 統括；松代中 木澤純教頭	■ 1 2 月 2 6 日（金）小中一貫に関する第3回委員会	□ 特に予定はなし
松之山中学校区 統括；松之山中 山崎孝幸教頭	■ 1 2 月 1 0 日（水）小中一貫教育推進会議 ■ 1 2 月上旬 友達川柳の募集（松之山中） ※ 1 2 月 1 8 日（木）に予定していた食育講座（お弁当のおかずづくり）は豪雪のため中止にしました。	□ 1 月 7 日（水）小中一貫教育推進会議 15:30～16:45（松之山中） □ 1 月 2 1 日（水）各部会事業評価 ・次年度計画協議 15:15～16:45（松之山休養村センター）

